

NO. **25**

発行 三好市議会
編集 議会広報編集委員会
三好市池田町シンマチ1500番地2
TEL 0883-72-7630
FAX 0883-72-3494

おもな内容

第1回臨時会	2~3
一般質問	4~8
議会のうごき	9~10
6月定例会	11
常任委員会報告	12~14
特別委員会報告	15
編集後記	16

議会 だより



西祖谷総合支所庁舎



議 長
平 岡 進 治

市民の皆様には、日ごろから市議会に対しまして、ご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

5月17日開催の臨時会におきまして、多くの議員の皆様からご推挙を賜り、三好市議会議長の要職に就任することになりました。市民の皆様の代表としての責任を自覚し、その負託に心えられるよう、努力してまいり所存であります。

議会運営につきましては、公平の立場を貫き、各議員がそれぞれの力量を十分に発揮できるように配慮してまいりたいと思っております。

今後とも、市民の皆様のご指導、ご鞭撻を心からお願い申し上げます。



副 議 長
伊 丹 征 治

市民の皆様には、日頃より市議会の活動に対しまして、ご理解とご協力をいただき、心から感謝を申し上げます。

私は、5月の臨時会におきまして、議員各位のご推挙をいただき、副議長に就任いたしました。身に余る光栄に存じます。もとより微力ではございますが、円滑な議会運営に努め、その使命達成と、より開かれた議会となるよう最善の努力を尽くす決意でございます。

今後とも、市議会に対しまして、市民の皆様方の絶大なるご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



監査委員
多 田 敬

5月17日、平成24年第1回臨時会が招集されました。この臨時会では、市長提出議案10件のほか議長・副議長の選挙、常任委員・議会運営委員の選任などが行われそれぞれ承認・同意されました。

総務企画常任委員会



委 員 長
近 藤 忠 明

副委員長 土井 忠行
委 員 高井マサ代

“ “ “ “ “ “
中 耕司
柿岡 敏弘
平田 政廣
木下 善之
大黒慎一郎

産業建設常任委員会



委 員 長
立 川 一 広

副委員長 古井 孝司
委 員 並岡 和久

“ “ “ “ “ “
千葉 清春
大浦 忠司
西谷 清
山子 凱雄

文教厚生常任委員会



委 員 長
吉 田 和 男

副委員長 西内 浩真
委 員 多田 敬

“ “ “ “ “ “
天羽 強
美浪 盛晴
三木 和弘
伊丹 征治
宮内 明治

議会運営委員会



委 員 長
木 下 善 之

副委員長 中 耕司
委 員 吉田 和男

“ “ “ “ “ “
近藤 忠明
土井 忠行
天羽 強
立川 一広
三木 和弘

平成24年5月臨時会に提出された承認・議案等・議決結果は、次のとおりです。

承認番号	件 名	結 果
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて 三好市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	承 認
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて 三好市税条例の一部を改正する条例について	承 認
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて 徳島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少に伴う徳島県市町村総合事務組合規約の変更について	承 認
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて 平成23年度三好市一般会計補正予算（第7号）	承 認
承認第6号	専決処分の承認を求めることについて 平成23年度三好市ケーブルテレビ事業特別会計補正予算（第3号）	承 認
承認第7号	専決処分の承認を求めることについて 平成23年度三好市国民健康保険特別会計補正予算（第6号）	承 認
承認第8号	専決処分の承認を求めることについて 平成23年度三好市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	承 認
承認第9号	専決処分の承認を求めることについて 平成23年度三好市浄化槽事業特別会計補正予算（第1号）	承 認
承認第10号	専決処分の承認を求めることについて 平成23年度三好市簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）	承 認
承認第11号	専決処分の承認を求めることについて 平成23年度三好市国民健康保険市立三野病院特別会計補正予算（第2号）	承 認
議案番号	件 名	結 果
選挙第1号	議長の選挙	選 挙
選挙第2号	副議長の選挙	選 挙
同意第5号	三好市監査委員の選任について	同 意
発議第2号	三好市指定管理者制度調査特別委員会の設置について	可 決
発議第3号	三好市市有財産活用調査特別委員会の設置について	可 決

副委員長
委員
宮山伊三並土近高吉古西
内子丹木岡井藤井田井谷
明凱征和和忠忠サ和孝
治雄治弘久行明代男司清



委員長
西内浩真

三好市市有財産活用調査特別委員会

副委員長
委員
大立平大木平美千天多柿
黒川岡浦下田浪葉羽田岡
愼一進忠善政盛清敏
郎広治司之廣晴春強敬弘



委員長
中 耕 司

三好市指定管理者制度調査特別委員会



木下善之

交流拠点施設の今後の取り組みについて
特定目的基金積み立ての一本化について
財産管理について

【質 問】

5月26日、市長はじめ、市関係、また船井電機役員、関係者の前で、株主総会において、個人で買い取り、少なくとも2年以内に三好市に寄贈する。とはっきり明言をされました。譲渡していただけると公になった以上は、議会における建設的な提言、市民の声にも謙虚に耳を傾け、市は早く方向性を定め、計画実行に移すべきであると思うが、市長の答弁を求めらる。

【答 弁】

船井電機株式会社での決定が必要になってくるが、整備計画に基づいて、施設の整備、運用に向けた必要な計画の策定と、建設工事着手に向けた準備について、鋭意実施していきたい。

【質 問】

特定目的基金は使途を旧町村に限定したため、予算執行に縛りがある。基金を一本化して、市民が幸せになれるような大きな事業に取り崩し、執行していくべきではないか。

平成22年度末で、土地約372万4542坪、建物9万7774坪と、広大な土地や建物を有しているが、執行部はどこまで把握しているのか。

また、遊休地はたくさんあるが活用せず、分庁舎等を含め民間に賃借料を支払っている実態があることの見解を求めらる。

【答 弁】

市内全域の住民サービスに対する基金の活用ができず、また地域振興協議会などの意見を聞く必要があることから、市の判断によるスムーズな執行ができない状況にあり、早期の見直しが必要となっている。関係者などへ説明を行い、本年度中に見直しを進めていく。

早急に市有財産の適切な把握に努めるとともに、活用可能な土地があれば有効活用できるよう努める。駐車場の適正規模の見直しを行い、今後引き続き職員数が減少することから、必要な賃貸駐車場を返却するとともに、各総合支所の有効活用を図っていく。



西内浩真

市内医療機関について

【質 問】

現在三好市民の人口は30、432名であり、そのうち65歳以上の方が11、342名であり、これは全市民の37・26%である。つまり三好市民の約4割が65歳以上である。三好市民30、432名のうち、18歳未満が3、848名、19歳～64歳が15、242名、65歳以上が11、432名である。

この数値が示すように我が三好市において完全な少子高齢化が浮き彫りになっている。我々大人は高齢者が守り抜いてきてくれた、この住みよい我が三好市を、次の世代に引き継ぐのが使命であり、子供達に明るい未来を用意するのが役目である。

現在三好市には26の病院がある。そのなかで未来ある子供を診察する小児科は10力所である。核家族化が進むなか、両親ともに仕事をしている家庭は多く、子供の病気やケガに気付くのは夜間が多いと推測できる。また子供の急な発熱や思いかげぬケガは昼夜を問

わず発生するのは、今も昔も変わっていないのである。事実上夜間等に診察する小児科は数カ所しかなく、四国中央市や善通寺市の医療機関に我が子連れて行った方も少なくない。このような現状で子育てしやすい町といえるのか。

三好市としての見解を伺う。
自然と共存でき、素直な子供が育つ住みよい町三好市を守り抜いてきた高齢者も、長年苦勞し病院にかかる方もたくさんいる。現三好市内の医療機関でまかなえていると考えるか、合わせて伺う。

【答 弁】

小児科については県立三好病院と、つるぎ町立半田病院と輪番制をとっており、夜間休日の小児救急をおこなっている。金曜～月曜は半田病院、火曜～木曜は三好病院が当番医となり、市報等で周知を図っている。高齢者については、三好市内に県立三好病院を含め入院病棟が634床、東みよし町に244床あり、ある程度対応できると考える。



美 浪 盛 晴

障害福祉計画と国保事業との連携強化について

【質 問】

障害者福祉計画における市の方策はサービス提供事業者にサービス拡充や人材確保、質的向上を働きかけるというものでしなく、財源計画が明示されていない。また、市の国保医療費は県下一高いが、そのうち「精神及び行動の障害」の入院費に占める割合は4割である。「受け入れ条件が整えば退院可能な精神障害者」の地域移行が進んでいないのではないか。地域移行に向けて障害福祉の財源を確保し、地域生活支援事業に積極的に取り組むべきでないか。

【答 弁】

市の計画は、全ての障害者に必要な支援を地域全体で支える体制づくりを推進していくものである。家族会支援やボランティア育成事業は県保健所が実施して、市

は事務取り次ぎ等で協力している。今のところグループホームの定員は希望者数に合っている。平成24年度地域支援事業予算は4500万円をとっており、その半分2200万円は市の単独事業である。補助対象の市負担分4分の1と合わせると総額の4分の3が市の支出になる。

市の国保事業における医療費は、「精神及び行動の障害の疾病」が県下の上位で特に入院による治療が多くなっている。今後については、疾病の早期発見、早期治療による重症化防止をすすめることで長期入院を減らせるよう、健康づくり対策の中で疾病予防に努めたい。社会的入院という対策は進んでいないのが現状である。保健事業などを通じてできるだけ給付費を減らしたい。



山 子 凱 雄

森林・林業再生について
新庁舎の建設について
交流拠点施設整備について

【質 問】

近年、国の補助事業により森林整備が促進され、林齢50年以上の森林が大半を占めている。森林資源の循環再生に取り組み自治体が増え、皆伐後の再造林事業を国や市町村の財源を充て推進し、林業事業体の裾野を広げ雇用の拡大を図っている。本市の取り組みを問う。

【答 弁】

国の森林・林業再生プラン及び徳島県は、次世代林業プロジェクトを推進し、県産材の拡大を促進している。三好市は、本年度から森林環境保全直接支援事業を本格的に実施し、森林の保育中心から木材利用中心への森林整備に大きく変わる。再造林補助率68%から100%補助については、徳島県との協議が必要であり難しい。

【質 問】

南海トラフ巨大地震検討会の公表では、本市の震度は最大「7」である。活断層帯に位置する危機管理の要である現庁舎は築40年を憂う。庁舎建設の研究、検討及び

合併特例債期限延長を見据えて、新庁舎建設計画は視野にあるか。

【答 弁】

東日本大震災の被害状況及び、発生が懸念される東海・東南海・南海及び連動型地震発生に対応し、危機管理体制を整備する。庁舎建設の検討を組織再編検討部会で進める。合併特例債が延長されるH28～H32年度の間に建築の方向で検討する。

【質 問】

市民の多くが施設の維持管理費を懸念する。慎重を期して設計や完成後の施設管理を描くべきだ。関係部署が入り、施設の供用と管理に関わるべきである。

【答 弁】

H27年度中の開館に向けて、基本計画の整備スケジュールに基づき進める。実施計画の取りまとめを行い、市民シンポジウムを開催し、内容を説明しご意見をいただく。維持管理や運用面で担当部局が入ることについては可能性を検討したい。



吉田 和男

自然エネルギーの導入促進について
地籍調査事業について

【質問】
脱原発や太陽光や太陽熱、水力、風力、バイオマス、地熱、波力など再生可能な新エネルギーへの転換を目指す機運が急激に高まっている。

これから、どんな方法で電力を確保していくべきが重要である。三好市として、これまで地球温暖化対策や省エネ社会、低炭素社会の実現に向けて、どのように取り組んできたのか。今後自然エネルギーの導入促進（耕作放棄地の活用や小水力発電機の普及等）及び地域活性化に向けての施策等考えは如何に。

【答 弁】
平成19年エネルギー政策をめぐり環境変化に対応した「三好市地域新エネルギービジョン」を策定、循環型社会の形成、自然エネルギーの活用等の施策を実現するため、ハイブリッド車やバイオディーゼル燃料を導入、庁舎等の一部にLED照明や太陽光発電設備を設置、今後、地域新エネルギービジョンの中で、それぞれに可能性はあるものの、周知な準備、調査をするともに、再生可能エネルギー

ギーの開発は、地域の企業参入により自立した事業として展開されることが最も理想で、新たな補助金や臨時交付金など、国、県の動向を見極めて取り組みたい。

【質問】
山村部を多く抱え広大な面積を有する本市では、土地所有者の高齢化や村離れが進んでおり、土地境界に関する物証や人証が失われつつある。

近い将来地籍調査を実施することが困難になることが予想され、調査期間を短縮し、早期に完結する加速的な予算と人員の確保及び今後の方向性はどうか。

【答 弁】
地籍調査事業は平成22年度末の進捗率37.3%、土地境界の明確化は、特に山林所有者の高齢化の著しい限界集落を対象に山村境界先行調査を実施、人材育成にも努め、今年度から新たに森林整備加速化・林業飛躍事業により、将来実施する地籍調査を効率的に行う森林境界の明確化事業にも取り組むこととし、今後調査方法も検討しながら市内全域の地籍調査の早期完了を目指したい。



平田 政廣

公民館、集会所の管理と設備の状況について
高齢者世帯の安否確認について
統合後の休校校舎の活用について

【質問】
市管理の公民館等集会施設と地域が管理する施設の箇所数は災害時避難施設の指定数は指定施設の内、障害者又は高齢者利用を想定して整備されている施設数は未整備施設の整備計画は

【答 弁】
市が直接管理する施設は18施設。地域が管理する施設は184は98施設。災害時避難指定施設は219カ所。

42施設で洋式トイレが整備されている。
総合支所単位で避難所の集約と整備計画を検討する。

【質問】
市高齢者福祉計画書では2015年の高齢化率は40%と推計されている。高齢者の安否確認の必要性が高まっている。市のケーブルテレビを福祉面で活用する計画予定はあるか。

【答 弁】
平成22年度から緊急時に緊急通報体制整備事業を実施しており、IP電話を利用し安否確認している団体もある。

平成24年度に既存の団体と連絡協議会を立ち上げ、市民参加型で見守り体制の構築を図る。ケーブルテレビ回線についても関係部署、関係機関と検討し活用に努める。

【質問】
市内の休校数は
休校活用での地域との協働、連携について市の考えは
有効活用の事業想定範囲は

【答 弁】
廃校11校、休校が17校で28校。行政施設で活用する施設、地域が活用する施設、民間が活用する施設など、地域の意見を聞き方針に反映したい。
社会教育施設以外にも福祉や宿泊施設、企業施設が想定される。



天羽 強

地震対策について

【質 問】

震度7の地震で壊滅的な被害。地震対策は市の最優先課題だ。

【答 弁】

災害時のセーフティネットが有効に機能するよう体制を整えたい。

【質 問】

地域防災計画の見直し作業は。

【答 弁】

改定に向け、市防災会議を7月中旬開催で作業中。

【再 問】

南海地震の震源域拡大。災害時相互応援協定は三豊市、観音寺市、四国中央市と締結。同時被災のおそれ、相互応援どころでない。締結先を見直す考えは。

【答 弁】

広範囲に被害が及ぶ備えには今後は必要、現状は進んでいない。

【質 問】

防災対策拠点施設の耐震性は。活断層周辺にある施設は。

【答 弁】

新耐震基準適用建物。活断層近

くに三野1、池田2拠点施設有り。

【再 問】

総合体育館、真裏の土讃線の真下は池田断層帯。県が震災対策条例策定後は活断層調査区域に。そんな所に拠点施設、耐震補強すべきだ。

【答 弁】

活断層がどの程度危険かは不明。土地利用規制をしていくことは今後慎重な対応を願う。

【質 問】

木造住宅の耐震化率。震度7時等の被害想定。住宅耐震化等普及促進方策は。

【答 弁】

耐震化率は全国79%、本県64.9%、本市39.0%。旧耐震の6979棟の約9割が被害と想定。利用者アンケートを実施、分析したい。

【提 言】

地震対策は家屋の倒壊対策。5年で5億投入し、耐震改修等していく決意が必要だ。



高井マサ代

日本女性会議について
池田消防署について
三好市の財政について

【質 問】

日本女性会議2013の開催に立候補した阿南市に協力し、観光客の誘致に向けた取り組みをするべきだ。女性連絡協議会に10万円、婦人会に10万円の通信、交通費を観光課と環境課と半分ずつの補助金を出して、日本女性会議が第1日目に取り組む10の分科会のうち、各1つのテーマを決めて阿南市に売り込むべきだ。

【答 弁】

三好市は、交流人口の増加を指しており、阿南の開催は観光客誘致の有効な手段である。第30回となる記念すべき会議であり、県内の男女共同参画意識の醸成という意味でも有意義である。協力要請等があれば職員の派遣など検討したい。補助金は法令に基づくものを除き、厳しい抑制をしており、新規の補助金については、公平性を第一に考えながら、各種団体の要望に基づき、予算編成の方

針に沿って検討していきたい。

【質 問】

三好市役所の北側にある消防署は何年に建設されたのか。総合庁舎と比べてどちらが古いのか。

【答 弁】

池田消防署は昭和51年に建築され、本庁舎は昭和48年の建築である。

【質 問】

徳島市の借金は927億円、貯金は119億円。三好市の借金は414億円、貯金は123億円である。三好市は、徳島市よりも財政状態がよいと言えるのか。

【答 弁】

平成19年3月、三好市行財政改革大綱と集中改革プランを策定し、行財政改革を積極的に進めてきた。平成22年度の将来負担比率決算値は74.7%となっている。なお、本市としては、他団体の財政状況をコメントする立場にはない。



並岡和久

交流拠点施設整備について

【質問】

本当に必要な施設か、建設した後の維持管理費は誰が払うのか、もう箱物は要らない、庁舎の建替えのほうは先ではないかななどの意見があり、再検討を求める署名7552名分、5月22日、市長が多忙ということ、企画財政部松丸部長に提出した。その取り扱いと、市はそれについてどう対応するのか。

5月26日、名誉市民称号贈呈式の講演のなかで、船井会長より2年以内に土地を譲渡する話があったが、今議会の行政報告のなかで、ふれなかったのはなぜか。調査ボーリングの実施時期はいつか。

3月議会で賛成多数で採択された陳情の中の、公開討議、意見交換の実施時期はいつごろになるのか。

【答弁】

5月22日、交流拠点施設の再検討を求める署名簿について提出をいただいた。法定署名でないので、交流拠点施設整備計画に対する一つの意見として提出いただいたと認識している。所有者である船井電機株式会社様のご承諾をいただいた後、この夏にもボーリング調査の実施予定である。

市民討議、意見交換の場の設定は、実施計画（案）の内容について説明、専門家による基調講演を行い、市民の意見を聞けるシンポジウムを開催する予定である。

【提言】

市民に負担がかかるのであれば、負担に筋が通っているのか、負担によって将来に希望がもてるか、市民の納得が得られなければならない。



古井孝司

大震災に備えた防災、減災対策の取り組みについて

【質問】

国民の命と財産を守るために、老朽化した社会資本の補強は待たなしである。我が党が提唱しているのが「防災・減災ニューディール」である。具体的には、単に公共事業を行うのではなく修繕・改築が必要な、命を守る公共施設の整備をはじめ防災・減災対策を目指すべきと主張している。そこで、三好市として大震災に備えた防災・減災対策の取り組みについて伺う。

- 1 土砂災害から住民を守るための防災教育等今後の計画。
- 2 公共施設の耐震化と老朽化した道路や橋の社会資本の補強計画。
- 3 災害用備品の設置状況と防災倉庫の設置状況。

【答弁】

- 1 今後も防災訓練等を通じて、

市民の防災意識の高揚また啓蒙に取り組んでいく。

- 2 道路構造物については、構造計算に基づいて決定し、耐震対策はされている。橋梁については、平成22年度に橋梁長寿命化修繕計画を策定して平成24年度から橋梁の修繕補修や落橋防止対策工事に着手する。学校以外の公共施設耐震化については、地域の交流拠点施設等、優先順位を決めて順次進める。

- 3 災害時に消防団が活用する発電機、投光器、簡易無線機等は備えている。今後避難所の集約とあわせて災害用備品の整備について検討する。防災倉庫の設置は池田町ウエノ、井川町西井川、三野町芝生の3カ所である。また、各総合支所や小学校等を活用し、備蓄食料等を備蓄している。

- 4月1日(日) 東祖谷観光施設竣工祝賀会
- 4月2日(月) 大歩危診療所開所式
- 4月4日(水) タクイラ市訪問団来庁・歓迎パーティー
- 4月6日(金) 第144回徳島県市議会議長会定期総会
- 4月7日(土) 第27回財田町謀之丞まつり
- 4月8日(日) 第9回西条市本谷温泉まつり
- 4月9日(月) 東祖谷小学校開校式
- 4月12日(木) 西祖谷パール薬局開設祝賀会
- 4月13日(金) 土地開発公社理事会
- 4月14日(土) 三好市新野町消防団分団長会
- 4月19日(木) 三好市新規学卒就職者歓迎式「チャレンジデー 2012in三好」実行委員会設立総会
- 4月21日(土) 第6回三好市文化まつり
- 4月24日(火) 第74回四国市議会議長会定期総会,
意見交換会
- 4月25日(水) 広報編集会議
池田地区民生児童委員協議会総会・交流会
- 4月26日(木) 西部4市正副議長会
三好市商工会青年部通常総会
- 4月27日(金) 西部4市正副議長会,三好市郷土史会総会,
三好市民生委員児童委員連絡協議会
総会並びに同互助会総会



西部4市正副議長会

- 5月7日(月) 平成24年度三好市文化協会総会・研修会
- 5月8日(火) 商工会女性部通常総会
- 5月9日(水) 議会運営委員会(臨時議会) 蔦文也杯選抜野球大会実行委員会
- 5月11日(金) 市議会議員共済会第1回審査会
- 5月14日(月) 徳島弁護士会 陳情受理
- 5月15日(火) 治水砂防協会賛助会員情報連絡会議
戦没者追悼式(三野)
- 5月16日(水) 第27回治水砂防協会定期総会
戦没者追悼式(西祖谷)
会派代表者会議
- 5月17日(木) 平成24年第1回臨時会
- 5月18日(金) 議会運営委員会
- 5月20日(日) 徳島県立三好病院高層棟建築工事安全祈願祭
徳島県立三好病院高層棟改築工事起工式
- 5月21日(月) 四国土砂防災ネットワーク議員連盟役員会
- 5月22日(火) 戦没者追悼式(池田)
- 5月23日(水) 戦没者追悼式(井川)
全国市議会議長会定期総会
第6回三好市商工会通常総会総代会
茨城県神栖市議会、行政視察「まちづくり基本条例について」



全国市議会議長会定期総会

- 5月24日(木) 東京要望活動
- 5月25日(金) 全国市議会議長会天皇拝謁
(協)阿波池田銀座街通常総会
- 5月26日(土) 名誉市民称号贈呈式
- 5月27日(日) (社)三好市シルバー人材センター平成24年度定時総会
- 5月28日(月) 国道439号京柱トンネル開通促進期成同盟会総会
四国直轄砂防事業促進期成同盟会総会
- 5月29日(火) 正副議長就任挨拶(県内市議会)
- 5月30日(水) 正副議長就任挨拶(県内、近隣市議会)
チャレンジデー 2012in三好オープニングセレモニー
- 5月31日(木) 戦没者追悼式(東祖谷)



徳島県東京本部

- 6月1日(金) 開会、議案説明全員協議会 特別委員会協議
- 6月3日(日) 第7回三好市・東みよし町合同障害者スポーツ大会
第4回近畿三好ふるさと会連合会総会
暴力追放三好連合会総会
- 6月5日(火) 一般質問通告締切、三好市人権教育推進協議会総会
- 6月7日(木) 議案質疑通告締切
- 6月10日(日) 三好市母子寡婦福祉連合会総会及び研修会
平成24年度西井川林業クラブ通常総会
- 6月11日(月) 一般質問
- 6月12日(火) 一般質問
- 6月13日(水) 議案質疑、委員会付託
- 6月15日(金) 市有財産活用調査特別委員会
- 6月16日(土) 三好市婦人団体連合会総会
- 6月18日(月) 指定管理者制度調査特別委員会
- 6月19日(火) 文教厚生常任委員会
- 6月20日(水) 産業建設常任委員会
- 6月21日(木) 総務企画常任委員会
- 6月22日(金) 一般社団法人三好市観光協会通常総会
- 6月23日(土) 三好市女性連絡協議会総会
- 6月24日(日) 第12回池田町消防OB会総会
- 6月25日(月) 討論通告締切
阿波池田商工会議所通常議員総会「議員懇談会」
- 6月26日(火) 委員長報告、質疑・討論、採決、閉会
- 6月27日(水) 森林環境税要望活動
- 6月28日(木) 森林環境税要望活動
- 6月29日(金) 池田町建設業協会通常総会
- 6月30日(土) 細田雄一選手ロンドン五輪出場三好市壮行会



森林環境税要望活動

平成24年6月定例会に提出された報告・承認・議案等・議決結果は、次のとおりです。

議案番号	件 名	結 果
報告第3号	明許繰越費繰越計算書の報告について（平成23年度三好市一般会計繰越明許費繰越計算書）	可 決
報告第4号	法人の経営状況を説明する書類の提出について	可 決
議案第37号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第24条の2第1項の規定に基づく職務権限の特例を定める条例の制定について	可 決
議案第38号	三好市行政組織条例の一部を改正する条例について	可 決
議案第39号	三好市印鑑条例等の一部を改正する条例について	可 決
議案第40号	三好市保育所設置、管理及び保育の実施に関する条例の一部を改正する条例について	可 決
議案第41号	三好市放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可 決
議案第42号	三好市乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について	可 決
議案第43号	徳島県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	可 決
議案第44号	平成24年度三好市一般会計補正予算（第1号）	可 決
議案第45号	三好市の特定の事務を取り扱わせる郵便局の指定における取扱事務の変更について	可 決
陳情番号	件 名	結 果
陳情第6号	白地第一中学校前の武道館並びに物置小屋を早期に取り壊し、跡地の有効利用として駐車場の設置を求める要望書	採 択
陳情第7号	県道山城東祖谷山線の一部改良について	採 択
議案番号	件 名	結 果
選挙第3号	徳島県後期高齢者医療広域連合議員の選挙	指名推薦
同意番号	件 名	結 果
同意第6号	三好市公平委員会委員の選任について	同 意

議案の審議結果（起立採決をとった議案について掲載）

賛成、×反対、退席 17番議長は採決に加わっておりません

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	18	19	20	21	22	23	24
議員名	西内浩真	古井孝司	吉田和男	多田敬	高井マサ代	近藤忠明	中井耕司	土井忠行	柿岡敏弘	並岡和久	天羽強	千葉清春	美浪盛晴	平田政廣	木下善之	大浦忠司	立川一弘	三木和弘	西谷清	伊丹征治	山子凱雄	大黒愼一郎	宮内明治
議案44号					×								×										

文教厚生常任 委員会報告

6月19日、委員会が開催され、市長提出議案6件について審査し、提出議案は全て原案のとおり可決すべきものと決定しました。

議案第42号について

【問】 今回の条例一部改正は、助成の対象を小学校3年生から6年生まで

に拡大するものであるが、合併以来議会で幾度となくこの問題を取り上げてきた。県の対象拡大の方針をうけての条例改正は県の後追いではないか。また助成に際し、所得制限を設けているのは徳島県下8市のうち三好市だけが撤廃はしないのか。徳島県下7町村で中学校卒業まで医療費を無料化しているが助成対象拡大の考えはないか。

【答】

本来乳幼児等医療費は国が助成するべきであり、全国市長会等において国へ要請を行っている。また県に対しても昨年乳幼児等医療費の助成継続とあわせて、助成対象を6年生まで引き上げるよう要請を行った。所得制限については、県が廃止の方向を示した上で、市への支援があれば考えるが、現段階ではこれまで同様所得制限を行う。助成対象を中学校卒業まで拡大する考えについては現在のところないが、今後の検討課題である。

【提言】

市長の2期目のマニフェストで四国一子育てしやすい三好市をめざしますとあるが、四国一どころか徳島県一にもなっていない。三好市が子育て対策の一環として乳児医療をもっと充実させ、そのことによつて県がさらに良い制度を導入するようその後押しをしていくことが必要である。

文教厚生常任委員会付託案件

議案番号	件名	議決結果
議案第39号	三好市印鑑条例等の一部を改正する条例について	可決
議案第40号	三好市保育所設置、管理及び保育の実施に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第41号	三好市放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第42号	三好市乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第43号	徳島県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	可決
議案第44号	平成24年度三好市一般会計補正予算(第1号)	可決

議案第44号について

民生費・児童福祉費

【問】

ファミリースポーツセンター事業の進捗状況はどのようになっているのか。

【答】

要綱・会則の整備を終え、市のホームページ、市報、ケーブルテレビでPRや会員募集を行っている。現時点の会員数は依頼会員47名、提供会員52名、両方の会員2名、計101名であり、今後は提供会員に講習を受けていただき8月1日からの実施を予定している。

【提言】

ファミリースポーツセンター事業は県内8市で三好市が一番遅い。会員募集も含め、遅れを取り戻すため全力を挙げてこの事業に取り組みでいただきたい。

生活保護費

【問】

三好市ケースワーカーで社会福祉主事資格を持っていない人は何名いるのか。また資格を持っていない人で十分な業務が行えているのか。一人何戸を担当しているのか。

【答】

人事異動にともない現在3名が無資格だが、通信教育や5泊6日の研修等で順次資格取得中である。

ケースワーカー一人平均60戸を担当しており、無資格者については査察員の同行や、有資格者が指導しながら巡回指導などの業務にあたっている。

教育費・社会教育費

【問】

防災キャンプ事業の意義を問う。

【答】

国が推進する県委託補助事業で、地域住民や子どもへの防災意識を高めると同時に絆を深めるものである。具体的には、西祖谷中学校の生徒を主体に、地域住民と合同で2泊3日の防災体験訓練をするものである。

【問】

震度7の地震が来た時に自分自身の命をどう守るか。また地域住民の共助をどうしていくかを考えた時に、非常に意義のある事業である。今後こういった事業を三好市全域の中学校へ拡げていく取り組みはできないか。

【答】

中学生も災害時には避難支援や避難場所の運営支援などの役割をはたすことが可能ではないかと考えており、そういったことを学が大変良い機会と思っている。来年以降も同様の補助事業があれば、積極的に他の学校にも取り入れていきたい。

産業建設常任 委員会報告

6月20日、委員会が開催され、市長提出議案1件、陳情1件について審査し、提出議案・陳情は全て原案のとおり可決・採択すべきものと決定しました。

議案第44号について

農林水産業費・農業費

産業建設常任委員会付託案件

議案番号	件名	議決結果
議案第44号	平成24年度三好市一般会計補正予算（第1号）	可決
陳情第7号	県道山城東祖谷山線の一部改良について	採択

【問】

そば協議会補助金の設立の目的及び構成人数は。

【答】

このそば協議会の目的は、生産量の拡大及び加工販売体制の確立、また、生産されたそばのプレミア化を図り価値を高めていくことを目的として設立する。構成員は、生産者・農協・販売業者・観光関係者・県等で構成し、人数は10名程度を予定している。

【問】

特産品作りの指導方法及び方針は持っているか。

【答】

その地域に適した品目の栽培を推奨し、関係機関連携のもと栽培指導を行う。また、源平いも（祖谷のじゃがいも）や黄金ヒバナなども奨励をしていきたい。

林業費

【問】

この委託料は、C材や林地残材などをチップやバイオ燃料の材料として木材を出す場合に、現地で仕分けをして用途別に堆積をして

出すことで、運送のコストを下げ

ていくための集積場整備とと思うが、搬出集積場整備の今後の計画と川崎地区の調査終了後の用地買収、造成工事は、補助事業か単独事業か。

【答】

三好市内を3ブロックに分けて東部は三好木材センター、池田西部、山城で今回の川崎地区、東西祖谷地区では適当な土地を探している。また、事業費の詳細が明確になれば費用対効果を算出し、指数が1以上になれば補助事業として実施したい。

土木費・都市計画費

【問】

丸山公園整備事業の概要で、防災公園として整備する役割並びに計画予定を伺う。

【答】

防災公園と呼ばれる公園は、一時避難場所や救援の活動拠点として活用される役割があり、耐震性のある備蓄倉庫や貯水槽、災害時に対応の簡易トイレ等の設置を検討している。

【提言】

防災公園であれば駐車場等を整備して、防災ヘリや緊急物資輸送用ヘリ、また、ドクターヘリ等が降りることのできるような施設整備を十分に検討して行うべきである。

【答】

三好市の防災計画の見直しに合わせて、計画の詳細については、提言を参考にして災害時に瞬時に対応出来るような体制を取っていく。



総務企画常任委員会報告

6月21日、委員会が開催され、市長提出議案3件、陳情1件について審査し、提出議案・陳情は全て原案のとおり可決・採択すべきものと決定しました。

総務企画常任委員会付託案件

議案番号	件名	議決結果
議案第37号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第24条の2第1項の規定に基づく職務権限の特例を定める条例の制定について	可決
議案第38号	三好市行政組織条例の一部を改正する条例について	可決
議案第44号	平成24年度三好市一般会計補正予算(第1号)	可決
陳情第6号	白地第一中学校前の武道館並びに物置小屋を早期に取り壊し、跡地の有効利用として駐車場の設置を求める要望書	採択

議案第37号について

【問】 改正後どのように発展させていくのか、市長部局に移管させる戦略的意図は何か。

【答】 経済成長率の向上が望めない中で精神的な部分を持ち上げ、それに呼応して豊かさを戦略的に取り組む必要はあると認識している。

議案第38号について

【問】 男女共同参画に関することは基本法目的の参画社会の形成を総合的かつ計画的に推進することからみても政策立案の所管部署で現行のとおり行うべきでは。

【答】 現行部署の人員数及び業務量等を考慮し、環境福祉部の人権室での業務とし、三好市としては各種審議会においても女性の意見の尊重をしてきており、ひきつづき行政の場でも施策を実施し、各原課の方で取り組んでいきたい。

議案第44号について

総務費・総務管理費

【問】

委託料の調査ボーリングの予算提案時期はつぎの当初予算でも可能でないか。また、産業廃棄物等の調査を同時に行った方が経費の削減につながるのではないか。

【答】 譲渡が具体的になった時点で事業を実施する必要がある。実施計画の策定、シンポジウムの開催は7月末を予定している。地盤調査の資料も利用できるものは活用したい。

【問】

コミュニティ助成補助金の内訳を伺う。

【答】 150万円の2団体に助成を行う。

【問】

積立金のなかで基金の目標額に設定はあるか。ランニングコストに関する基本的見解、また複合施設になった場合はどうか。

【答】 交流拠点基金の趣旨を理解していただき市民参加で寄付と同等の額はこの基金に積み立てたい。ランニングコストは同程度の施設経費6000万円となっているが、施設建設による経済波及効果も考

慮していく必要がある。基金の使用は経年後のリニューアル経費やイベント開催経費の単年度負担を軽減するのが目的であり、積上げによる目標額の設定が必要になってくる。併用施設になった場合はどこまでの複合化が図れるかなど今後の検討課題ではあるが単体施設よりは圧縮されるものである。

消防費

【提言】

市民の安全・安心、市益を最優先に考え消防防災施設整備の補助事業等は積極的に活用できるように関係各課の連携を図るべき。

【答】

補助事業の活用には普段から心構えをしておくよう指導していく。

地方債補正

【問】

防災公園整備事業債の充当率及び交付税算入率はいくらか。

【答】 合併特例債で充当率95%、算入率70%である。

市有財産活用調査

特別委員会

調査項目

- 市有財産の現状
- 管理方法
- 市の利活用方針
- 分類及び工程

委員長挨拶

限られた財源や資源を最大限に活用しながら、効率的で効果的な行財政制度の確立を取組む上で大きな面積を有する三好市においては未利用の市有財産の活用、運用策を見出すことが重要である。

副市長挨拶

市有財産のこれまでの活用状況、またこれからの活用策について委員皆様の慎重審議をお願いする。

第1回協議項目（主な意見）

1. 財産に関する調査
 - ・ 法定外公共物（里道・水路）の取り扱い
 - ・ 広域連合の消防本部の建物区

分は。

2. 公園等の一元管理方針

- ・ 管理対象施設の現状把握を行い、次回資料提供を望む。
- ・ 予定にある検討会議の構成員は。

3. 休廃校活用事業の進め方

- ・ 全国の成功事例の資料提供を望む。
- ・ 理事者と委員会との検討内容及び日程の協調を図るべき。
- ・ 施設廃止区分の、具体的な取り壊し日程はあるのか。

指定管理者制度調査

特別委員会

調査項目

- 指定管理全般の現状
- 公の施設管理方針

委員長挨拶

指定管理者制度は、管理委託制度からの移行に際し施設ごとに指定管理者制度の導入の妥当性・有効性が十分に検討されることのないままに導入がすすめられた。本委員会での実態と問題点を明らかにし、公共施設の管理について

審査をお願いする。

副市長挨拶

指定管理者制度導入後さまざまな課題等がでてきている。脆弱な財政構造の中、さらなる住民サービスの向上のため真摯な審議をお願いする。

第1回協議項目（主な意見）

1. アウトソーシング推進指針
2. 指定管理者制度導入基本方針
3. 事業報告書
 - ・ 従業員雇用による貢献度把握のため、雇用状況資料提供を望む。
 - ・ 住民に対するサービスだけの施設は委託管理料を支払って運営していくべき。
 - ・ 第三セクターや補助金を受けている団体などに指定管理者させているのは指定管理者制度の理念から外れているのでは。
 - ・ 指定管理者のモニタリングの統一的な指針はあるのか、またモニタリング結果の公表をするのか。
 - ・ 指定管理者選定委員会を原則公開にすべき。

議会改革検討委員会

6月定例会開会日の全員協議会において、議員定数をはじめとした議会改革について取り組む検討委員会が設置されました。6月12日第1回会議では正副委員長相互選や検討項目について話し合い、6月26日の第2回会議で委員会から検討項目が提出され、次回からそれぞれの項目について協議が行われることになりました。

議会改革検討委員会

委員長	大浦 忠司
副委員長	西谷 清
	西内 浩真
	古井 孝司
	多田 敬
	柿岡 敏弘
	並岡 和久
	千葉 清春
	平田 政廣
	山子 凱雄
	大黒慎一郎
	宮内 明治

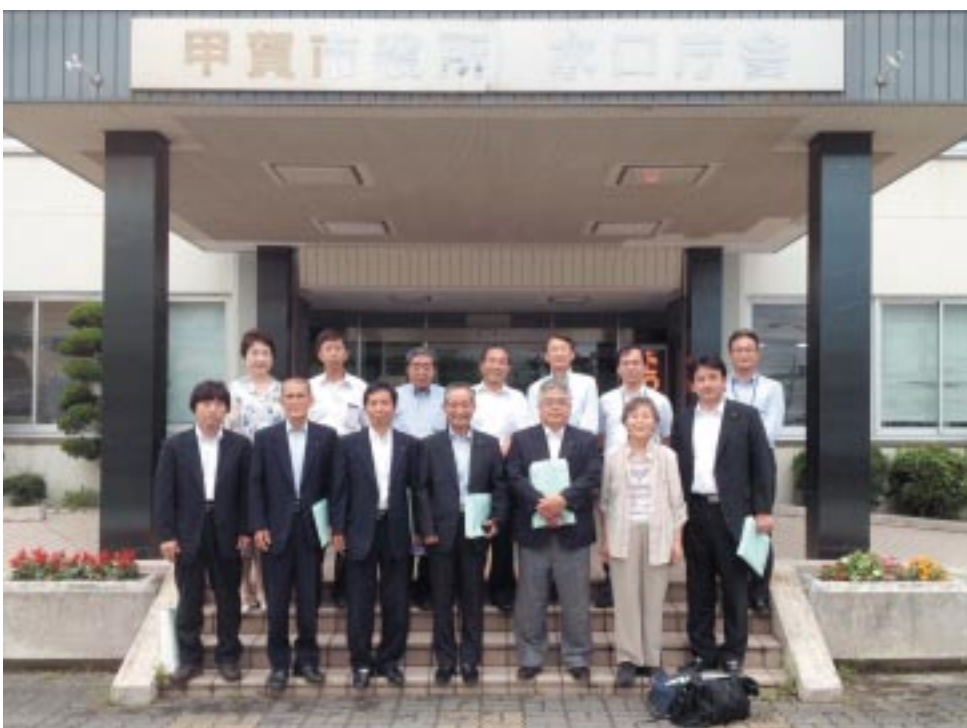
広報編集委員会行政視察



7月13日 鈴鹿市議会



7月13日 亀山市議会



7月12日 甲賀市議会の広報特別委員会の皆さんと議会だよりの発行について意見交換を行いました。「1つが市議会だより」は毎日新聞主催の近畿市町村広報コンクールで何度も受賞しています。議員自ら行事に足を運び、議会の写真は議員が撮る。企画内容、担当表、割付作業など発行までに5回の編集会議を行うなど多くの刺激を受けました。三好市議会広報編集委員会も順次、検討、改善中に取り組んでいきます。

編集後記

残暑お見舞い申し上げます。暑い日が続きますが、読者のみなさまにはお変わりございませんか。三野の太刀野用水や祖谷の木陰のかずら橋の、それぞれの涼しさを想像しながら、私たち編集委員会も暑さに負けず原稿集めや校正に精力的に取り組みました。

任期の後半に当たりあらたに委員の交代がありました。少数会派ばかりの委員ですが、編集委員会一同は一生懸命頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。

さっそく、みんなで甲賀市などへ議会広報紙の視察に行つて参りました。効果的な写真の採用、Q&Aの記載方式、各議員の賛否態度結果、議員主体の編集など興味深い取り組み内容でした。

三好市議会だよりも、より市民に親しみやすいものとなるように研修の成果を出したいと思えます。ご期待ください。

2012年8月

(美浪盛晴)

三好市議会広報編集委員会

委員長	古井 孝司
副委員長	美浪 盛晴
委員	高井マサ代
委員	中 耕司
委員	千葉 清春
委員	西内 浩真